

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)健都2街区高齢者向けウエル	階数	地上7F
建設地	大阪府吹田市岸部新町6番及び7番	構造	RC造
用途地域	第1種住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	未定 人
地域区分	6地域	年間使用時間	未定 時間/年(想定値)
建物用途	集会所,病院,集合住宅,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2018年6月21日
敷地面積	4,172 m ²	作成者	IAO竹田設計 第3事務所
建築面積	2,451 m ²	確認日	2018年6月21日
延床面積	9,450 m ²	確認者	IAO竹田設計 第3事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 184 230 276 322 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	吹田市の「北大阪健康医療都市(愛称:「健都」)」のまちづくりの一つです。ウェルネスをコンセプトに、居住する全ての人々が、できる限り健康の保持・増進に努め、安心安全で豊かな生活を送ることができるという考え方を基に、①生活習慣病予防や介護予防を特に意識したウェルネス機能 ②地域包括ケアシステム機能 ③北大阪健康医療都市内外の関係機関等との連携による付加価値機能という3つの特徴を持つ住宅環境の整備を目指しています。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
サービス付き高齢者向け住宅、小規模多機能施設、共同住宅が主となる用途から、騒音等に配慮した計画とし、また居住空間の質を確保するために自然採光、機械設備を用いた環境整備を行う。また、気密性・断熱性について	長期的に快適な利用が可能となるように、意匠・構造・設備が一体となり、建築物全体の機能や耐久性への対応を追求している。	立地特性を把握し、より快適な生活空間となるよう、壁面線の後退、建物ボリュームのセットバック、歩道上空地の整備、植栽計画等を行い環境の向上に努め、周辺景観への配慮をしています。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明の使用、太陽光パネル設置など環境負荷低減を試みています。	躯体と仕上げ材が分別可能とする。	適切な駐車場、駐輪場の台数を確保し、敷地外への溢れ出しを防いでいる。また、屋上緑化を行うことにより、敷地内の環境にとどまらず、周囲の環境や地球温暖化への配慮を行っている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)健都2街区高齢者向けウェルネス住宅 新築工事
--------	------	----------------------------

	建設地	大阪府吹田市岸部新町6番及び7番
--	-----	------------------

	用途/区分	集合住宅 病院 物販店
--	-------	-------------

【評価結果】	CASBEE 総合評価		A
--------	----------------	--	---

①	CO2削減		3
---	-------	--	---

②	みどり・ヒート アイランド対策		3
---	--------------------	--	---

③	建物の断熱性		5
---	--------	--	---

④	エネルギー削減		3
---	---------	--	---

⑤	自然エネルギー直接利用		—
---	-------------	--	---

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

	エネルギー消費量の報告	対象外
--	-------------	-----

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.6	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.2	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.2	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入	太陽光パネル	屋上に太陽光パネルを設置し、自然エネルギー利用をしている
特に配慮した事項	特になし	